7月号
2014年(平成26年)
Vol.121

東広会ニュース

東日本鉄道東京広告会
EAST JAPAN RAILWAY TOKYO ADVERTISING ASSOCIATION
発行所　東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル10F
東日本鉄道東京広告会
電　話　03(5447)7928
E-MAIL　info@tokokai.jp

J企交通媒体本部「2014年度第1四半期売上」まとまる

J企交通媒体本部の2014年度第1四半期の売上は、4月は対前年88%と低調なスタートであったが、5月は対前年100%、6月は対前年113%となり、全体では104億99百万円、対前年99.8%まで回復した。メディア別では、車両メディアは対前年100.0%で、駅メディアは対前年99.5%となった。

■車両メディア（実績66億50百万円、対前年100.0%）

『3線群中づり』は、出版社や大口出稿の減少等により前年度を下回った一方で、『3線群まど上』は、飲料・嗜好品等の大口出稿の増加等により前年度を上回った。『ドア横新B』は、4月の売上低調の影響を受けて前年度を下回った。

『ADトレイン等』『車体広告』は、山手線への出稿増により前年度を上回った。

『トレインチャンネル』は、4月の商品見直しや企画商品の積極的な販売を行ったこと等により前年度を上回った。6月にはサッカー「ワールドカップブラジル大会」結果速報が行われた。

■駅メディア（実績38億31百万円、対前年99.5%）

『駅ポスター』は、「セット商品」は前年度を上回ったものの、「一般ポスター」は前年度を下回り、全体では前年度を下回った。

『SPメディア』は、「SPボード等」「自動改札ステッカー」は前年度を上回ったものの、「集中貼り」「イベント等」は前年度を下回り、全体では前年度を下回った。

『サインボード』は、吉祥寺駅や桜木町駅での新規計画開発や、渋谷駅・新宿駅・大宮駅等での随時開発のほか、昨年度に引き続き「予約販売」や「特別企画」等の販売に努めたが、駅改良工事による支障の影響等により、前年度を下回った。

『J・ADビジョン』は、3月より大宮駅東口改札外、南口改札外に42面の展開や吉祥寺駅1階南北自由通路で設置面数が5面から12面に拡大された。

『デジタルサイネージ』は、実証実験を行っていた恵比寿駅「大型LEDビジョン」が4月より商品化され、販売が開始された。

<2014年度　第1四半期　媒体別売上実績>　(単位:百万円)

媒体		第1四半期 2014年度	2013年度	前年比	増減
車両メディア	3線群　中づり	1,497	1,604	93.3%	-107
	3線群　まど上	1,178	1,163	101.2%	15
	ドア横新B	1,102	1,205	91.4%	-104
	ステッカー	702	706	99.4%	-4
	東海道/宇都宮・高崎線、地方線、新幹線　他	276	277	99.8%	-0
	ADトレイン等	182	128	142.3%	54
	車体広告	113	110	103.0%	3
	トレインチャンネル	1,600	1,457	109.8%	143
	計	6,650	6,650	100.0%	-0
駅メディア	駅ポスター	601	629	95.5%	-28
	SPメディア	592	652	90.9%	-60
	サインボード	1,989	2,033	97.8%	-44
	フリーペーパーラック店舗ラッピング	168	161	104.0%	7
	J・ADビジョン	433	325	133.1%	108
	デジタルサイネージ	48	49	98.7%	-1
	計	3,831	3,849	99.5%	-18
その他（工事　他）		18	25	71.2%	-7
総計		10,499	10,524	99.8%	-26

トレインチャンネルで「紫外線指数情報」と「汗かき予報情報」を放映

トレインチャンネルで「紫外線指数情報」と「汗かき予報情報」が放映された。

広告主はプロクター・アンド・ギャンブル・ジャパンで、「紫外線指数情報」では「パンテーン」、「汗かき予報情報」では「ファブリーズ」の商品告知がそれぞれ行われた。

山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線、京葉線、埼京線、横浜線（一部）のトレインチャンネルで放映され、一般財団法人日本気象協会発表の「紫外線指数情報」と「汗かき予報情報」を商品情報とともに地図形式で表示し、それぞれ紫外線対策と夏の汗対策を促すものとなっており、「紫外線指数情報」の直後に「パンテーン」、「汗かき予報情報」の直後に「ファブリーズ」の商品CMがそれぞれ放映された。

「紫外線指数情報」では「パンテーン」のキャラクター、「汗かき予報情報」では「ファブリーズ」のキャラクターである松岡修造さんを登場させ、オリジナルのクリエイティブが展開された。

今回の展開は、通常トレインチャンネルで放映しているニュース番組等と同じ随時更新システムが使用され、朝、夕方、夜の1日3回情報が更新されており、山手線等の電車利用者の注目を浴びた。

展開期間は、「紫外線指数情報」が6月30日(月)から8月24日(日)まで。「汗かき予報情報」が7月7日(月)から8月31日(日)まで。

トレインチャンネル「紫外線指数情報」

トレインチャンネル「汗かき予報情報」

山手線2編成で車体広告展開を実施

山手線の2編成において、車体広告展開が実施された。

広告主はピックルスコーポレーションで「ご飯がススムキムチ」「ご飯がススムデカうまキムチ」のPRが行われた。

今回の展開は、山手線2編成全ての電車車体を同一広告主でジャックしたものとなっており、山手線利用者の注目を浴びた。

展開期間は6月15日(日)から7月13日(日)まで。

山手線車体広告

桜木町駅北改札外・南改札外通路に「J・ADビジョン」が登場！

7月1日(火)から桜木町駅北改札外・南改札外で「J・ADビジョン」の放映が開始された。

桜木町駅のリニューアルに伴い、60インチ縦型液晶ディスプレイの「J・ADビジョン」が北改札外に7面、南改札外に4面計11面新たに設置された。

みなとみらいエリアへの玄関口である桜木町駅において強い訴求力を持った広告展開が可能となり、桜木町駅利用者の関心を集めた。

これにより東日本エリアに展開するJ・ADビジョンは46駅402面に拡大された。

桜木町駅北改札外通路「J・ADビジョン」

渋谷駅でSPメディアと駅ポスターセット・サインボードの集中展開を実施

渋谷駅において、SPメディア「ハチコーボード」「ハチコーボード2」「ハチコーボード3」「渋谷外回りシート」「渋谷駅集中貼り+ハチ公口階段壁面オールラッピング」と駅ポスターセット「渋谷ハーフジャック」「渋谷北通路ハーフジャック」と渋谷駅舎上部「駅サインボード」を使用した集中展開が実施された。

広告主はBoseで、Boseのヘッドホンの各商品のPRが行われた。

渋谷駅のハチ公口駅舎壁面、ハチ公口改札正面、ハチ公口改札外自由通路壁面、外回りホーム渋谷方壁面をジャック展開する「ハチコーボード」「ハチコーボード2」「ハチコーボード3」「渋谷外回りシート」の展開にあわせ、渋谷駅のほぼ全ての階段壁面とハチ公口階段壁面に集中的に広告訴求する「渋谷駅集中貼り+ハチ公口階段壁面オールラッピング」、渋谷駅外回りホームと渋谷駅ハチ公口改札外自由通路をジャックする駅ポスターセット「渋谷ハーフジャック」「渋谷北通路ハーフジャック」、渋谷駅舎上部「駅サインボード」において、同一クライアントによる集中展開が同時期に行われた。

展開期間は、「ハチコーボード」「ハチコーボード2」「ハチコーボード3」「駅サインボード」は7月1日(火)から7月14日(月)まで。「渋谷外回りシート」「渋谷北通路ハーフジャック」は、6月30日(月)から7月13日(日)まで。「渋谷駅集中貼りハチ公口階段壁面オールラッピング」「渋谷ハーフジャック」は6月30日(月)から7月6日(日)まで。

ハチコーボード・渋谷駅舎上部駅サインボード

渋谷外回りシート

東京駅丸の内地下改札外でアドピラー広告展開を実施

東京駅丸の内地下中央通路、丸の内地下南口の柱を活用した「アドピラー」のSP広告展開が行われた。

広告主は丸の内商店会・丸の内オアゾ商店会で、「丸の内SALE」のPRが実施された。

東京駅丸の内地下通路の柱を1つの広告主で集中的に展開されたSP広告は、東京駅利用者の注目を浴びた。あわせて山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線、京葉線、埼京線、横浜線トレインチャンネルの展開も行われた。

展開期間は、「アドピラー」「トレインチャンネル」ともに6月30日(月)から7月6日(日)まで。

東京駅丸の内地下通路アドピラー

秋葉原駅で「中央改札内大型シート」の展開を実施

秋葉原駅において「秋葉原駅中央改札内大型シート」の展開が実施された。

広告主はバンダイビジュアルで「ラブライブ!」のPRを行った。

秋葉原駅中央改札の正面上部に大型サイズで掲出されるインパクトある展開は、秋葉原駅利用者の関心を集めた。

展開期間は、6月30日(月)から7月6日(日)まで。

秋葉原駅中央改札内大型シート

委員会名簿(順不同) 平成26年7月

総務委員会(7名)

委員長　長渡　泰三　㈱日交
副委員長　大村　義親　㈱弘亜社
副委員長　細野　文隆　㈱ユーシン広告社
副委員長　石原　能郎　㈱東広
副委員長　箕輪　正則　鉄道広告㈱
吉田　文成　㈱NKB
渡邉　健二　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部

車両メディア委員会(17名)

委員長　杉本　公男　協立広告㈱
副委員長　神田橋　治　㈱TOMOE
副委員長　坂本　典幸　㈱JTB コミュニケーションズ
副委員長　関野　茂　㈱日本スタデオ
有吉　英明　㈱オリコム
渡部　清重　㈱ムサシノ広告社
阿久澤　俊広　㈱春光社
佐々木　弘史　㈱NKB
三池　元　㈱電通
成田　和宏　㈱日交
松尾　良太　㈱博報堂DY メディアパートナーズ
浅野　昇　㈱ニューアド社
那波　俊哉　㈱東急エージェンシー
福田　由佳　㈱ジェイアール東日本企画 OOHメディア局
末吉　智秋　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部
藤井　悟史　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部
伊藤　慎一　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部

駅メディア委員会(19名)

委員長　小野寺忠之　㈱春光社
副委員長　田草川　滋　㈱ニューアド社
副委員長　池田　剛　㈱博報堂DY メディアパートナーズ
副委員長　阿部　晋治　㈱電通
成田　和雄　協立広告㈱
鍋島　義博　㈱TOMOE
吉行　由里　㈱電通
栗原　裕士　㈱ムサシノ広告社
武田　英隆　㈱日交
小池　実　㈱弘亜社
輿石　栄作　㈱JTB コミュニケーションズ
塩入　純夫　㈱日本スタデオ
工藤　博　㈱NKB
岡　雄治　㈱共和企画
岡本　光郎　㈱オリコム
川崎　晴代　㈱ジェイアール東日本企画 OOHメディア局
末吉　智秋　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部
藤井　悟史　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部
村上　公裕　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部

サインボード・安全委員会(19名)

委員長　稲川　一　㈱文宣
副委員長　中橋　光　㈱大晃
副委員長　関　学　㈱星広告
副委員長　高橋　源治　㈱共和企画
齋藤　竹史　㈱NKB
越沼　義之　㈱エキスプレス広告社
大橋　恒夫　㈱近宣
田中　誠一　㈱ユーシン広告社
坂下　政道　㈱オリコム
足立　義人　㈱ニューアド社
大森　雄二　㈱大宣
練木　裕二　㈱山水広告社
中村　晃　㈱日交
中野　亮　㈱アド・スマイル
五島　剛　㈱ジェイアール東日本企画 OOHメディア局
末吉　智秋　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部
藤井　悟史　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部
稲田　浩史　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部
加藤　潔　㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部

各種委員会を開催

各委員会では、第1回理事会(6月18日開催)において選任された委員による委員会をJ企会議室で開催した。

◆総務委員会　7月14日(月)
「各メディア委員会7月16日(水)」
◆車両メディア委員会
◆サインボード・安全委員会
◆駅メディア委員会

各委員会において、委員の互選により委員長、副委員長を選出(上記、委員会名簿参照)した。また、今年度の活動方針を確認し、分科会の組織づくり、交通広告の現況等について意見交換が行われ、媒体社と広告会社が一体となって課題等に取り組んでいくことが確認された。

各分科会の座長・副座長には

・車両メディア分科会
座　長　渡部　清重(㈱ムサシノ広告社)
副座長　池谷　裕志(協立広告㈱)

・駅メディア分科会
座　長　岡本　光郎(㈱オリコム)
副座長　輿石　栄作(㈱JTBコミュニケーションズ)

・サインボード・安全分科会
座　長　稲川　一(㈱文宣)
副座長　中橋　光(㈱大晃)
副座長　関　学(㈱星広告)
副座長　高橋　源治(㈱共和企画)

・デジタルサイネージ分科会
座　長　輿石　栄作(㈱JTBコミュニケーションズ)
副座長　池谷　裕志(協立広告㈱)

各氏が選任された。

第8回ボウリング大会を開催

東広会主催の第8回ボウリング大会を6月26日(木)品川プリンスホテルボウリングセンターで21社40名が参加して開催した。

成績は次のとおり

優　勝　渡辺　智之氏(㈱アド・ボード)
準優勝　安岡　和幸氏(㈱NKB)
第3位　五島　剛氏(㈱ジェイアール東日本企画)

会員名簿変更

・社名変更
㈱JR西日本コミュニケーションズ
(6月13日付)

・代表者変更
㈱モノレール・エージェンシー
代表取締役社長　小池　康隆　氏
(6月24日付)

㈱京王エージェンシー
代表取締役社長　大里　公二　氏
(6月26日付)